

事業名	県営農村地域防災減災(ため池補強)		路河川名等	—		
事業毎の通番	2	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	塩田(しおだ)	
事業目的	<p>近年、大規模な地震が頻発しており、今後も多くの災害の発生が危惧されている。本地区の3つのため池について、老朽化が進行していることや耐震性が不明であったことから、平成25年度に耐震性調査を実施したところ、堤体上下流の法面で、地震時に必要な耐震性を有していないことが判明した。</p> <p>このため、早急にため池の耐震補強を行い、災害の未然防止による、地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることを目的とする。</p>					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	土地改良法		
関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県強靱化計画、上田市地域防災計画					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象:農地192ha、人家220戸、公共施設(小学校、保育園、上田電鉄別所線、県道 ほか) 受益対象:農地129ha					
着手年度	平成29年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	2.6		国庫 646,250 其他 129,250 県債 359,000 一般財源 40,500	
全体事業内容(主な工種)	ため池工 N=3箇所(堤体補強 L=1,122m)			1,175,000		
年度事業内容(主な工種)	ため池実施設計 一式			40,000	22,000 4,400 12,000 1,600	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物生産効果(干ばつ被害による減産が防止できる) 災害防止効果(ため池の決壊による農地、農業用施設、農作物、人家、公共施設等への被害を防止できる)				
	間接的効果(定量的・定性的)	優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。ため池や農村景観が保全され、ため池百選に選定された「塩田平のため池群」として、観光資源となる。				
評価の視点	必要性	○保全対象の人家戸数 : 220戸 ○保全対象の公共施設 : 東塩田小学校、東塩田保育園、上田電鉄別所線、主要地方道上田丸子線、主要地方道別所丸子線、県道塩田仁古田線 ○保全対象の農地、農業用施設 : 農地 192ha ○保全対象の避難場所等 : 有(重要施設 広域避難場所)			評価	A
	重要性	○ため池依存度 : 依存度 大(他に水源なし) ○ため池受益面積 : かんがい面積 129ha ○地域防災計画上の位置づけ : 県及び上田市の地域防災計画に位置付け			評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 2.6 ○事業期間 : 7年間(H29~H35) ○工法等の比較検討 : 耐震工法の比較検討を実施			評価	A
	緊急性	○危険度調査結果 : 平成25年度に実施した耐震性調査の結果、耐震性を有していない ○過去の被災履歴 : 5年以上前に国庫補助事業、県単独事業で改修済 ○応急対策の実施状況 : 低水管理を実施、平成27年度にハザードマップを作成・配布済			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : H26.9.29 住民を対象としたため池耐震調査結果説明会を開催 ○地域の取り組み : 耐震性点検、ハザードマップ作成において、積極的な住民の協力がある ○地域の合意形成 : H27.2.27 地元自治会で計画説明会を開催し、合意を得ている ○住民との協働 : 平成27年度に住民協力のもと、ハザードマップを作成 多面的機能支払事業により、住民がため池の管理や簡易な補修を実施			評価	A
	部意見	災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な対策工事が必要である。	行政改革課意見	耐震調査の結果、堤体が耐震性を有していないことが判明している。地震時など、下流域への影響も大きいことから、必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○ A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	3つのため池は、江戸時代に築造され、以降、洪水吐、波除護岸等の部分的な改修は行われているが、堤体本体は改修されていないため、近年、堤体の沈下による変形や法面の部分的な崩落が生じている。また、堤体上下流の法面が急勾配となっており、堤体の安定性が確保されていないため、早急な対策が必要となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成25年度に実施した耐震性調査の結果を公表し、地元住民、施設管理者と打合せを行った結果、改修の強い要望が出された。対策工事に先立ち、平成27年度に、地元住民の意見を取り入れて、ため池ハザードマップを作成した。
③事業説明等の経緯	平成27年2月から、施設管理者に対して説明会を開催し、合意を得ている。併せて、地元自治会、地域住民への説明会も開催している。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県強靱化計画、上田市地域防災計画に基づき、ため池の耐震対策を行うことで、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。多面的機能支払事業の活動組織が設立されており、ため池や農地が適正に維持管理されている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区のため池は、周辺が市街化しているため、ため池の直下流に住宅が多数存在する。また、小学校、保育園、県道等の公共施設も存在するため、決壊時の被害は重大である。また、動植物への配慮として、ため池内の魚類については、施工に先立ち移動を行うとともに、計画区域内に貴重な植物を確認した場合は、移植が可能なものは、工事の影響がない場所へ移植を行い、移植ができないものは回避に努める。
⑥地域活性化への影響と配慮	災害が未然に防止されることにより、優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。また、本地区のため池を含む「塩田平のため池群」がため池百選に選定されており、ため池や農村景観が保全されることにより、観光資源として地域の活性化につながる。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36° 20' 40"
東経:E 138° 13' 12"